

三郷市立小・中学校教育環境整備計画改定

小・中学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方を掲げ、その実現のための手法や手順を定め、児童生徒にとってよりよい教育環境を整備していくことを目的として、三郷市立小中学校教育環境整備計画を改定します。

適正規模・適正配置の基本方針

適正規模

- 《小学校》12学級以上
- 《中学校》12学級以上

＜文部科学省基準＞
小・中学校とも12学級以上18学級以下

適正配置

- 《小学校》2km以内
- 《中学校》3km以内

＜文部科学省基準＞
小学校おおむね4Km以内、中学校おおむね6Km以内

適正規模・適正配置に向けた方策

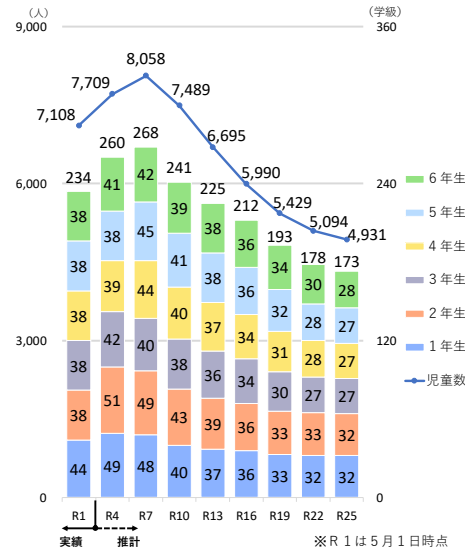
- ①通学区域の見直し
- ②隣接校との統合
- ③その他の方策
 - 学校施設の改修等
 - 学校選択制
 - 小中連携教育等
 - 学校運営協議会制度

検討対象地域と進め方

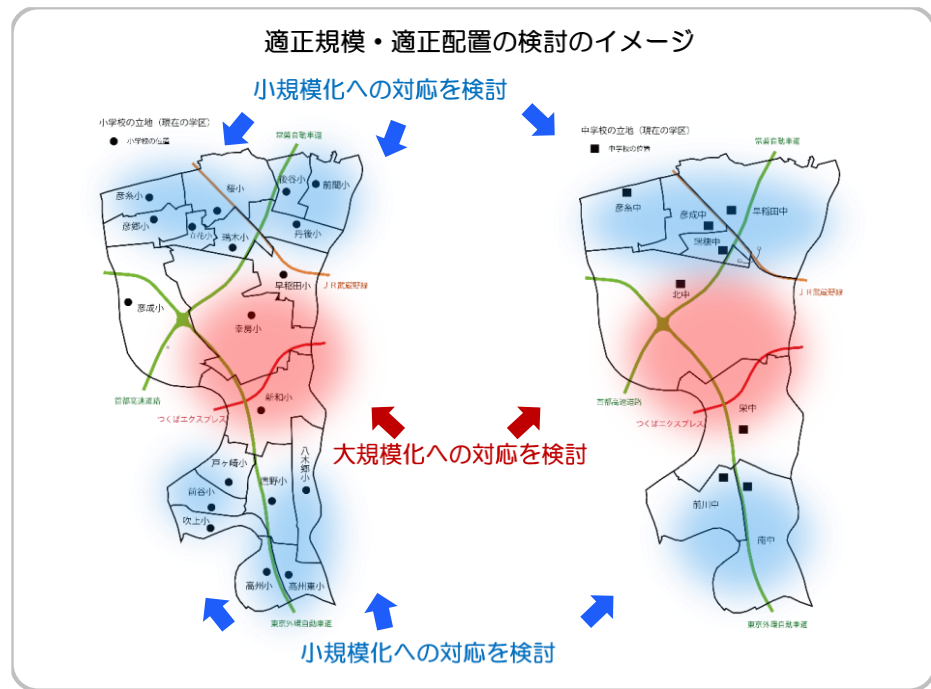
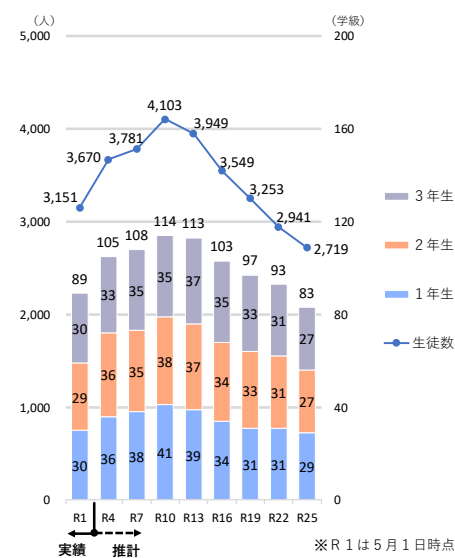
検討対象とする地域の考え方

- ①小規模化への対応
 - (小)全学年単学級もしくは単学級のある学校
 - (中)全学年2学級以下もしくは2学級以下のある学校
- ②大規模化への対応
 - 通学区域の変更、既存校舎の改修、仮設校舎の設置
- ③その他の対応
 - 隣接校との距離が近い学校

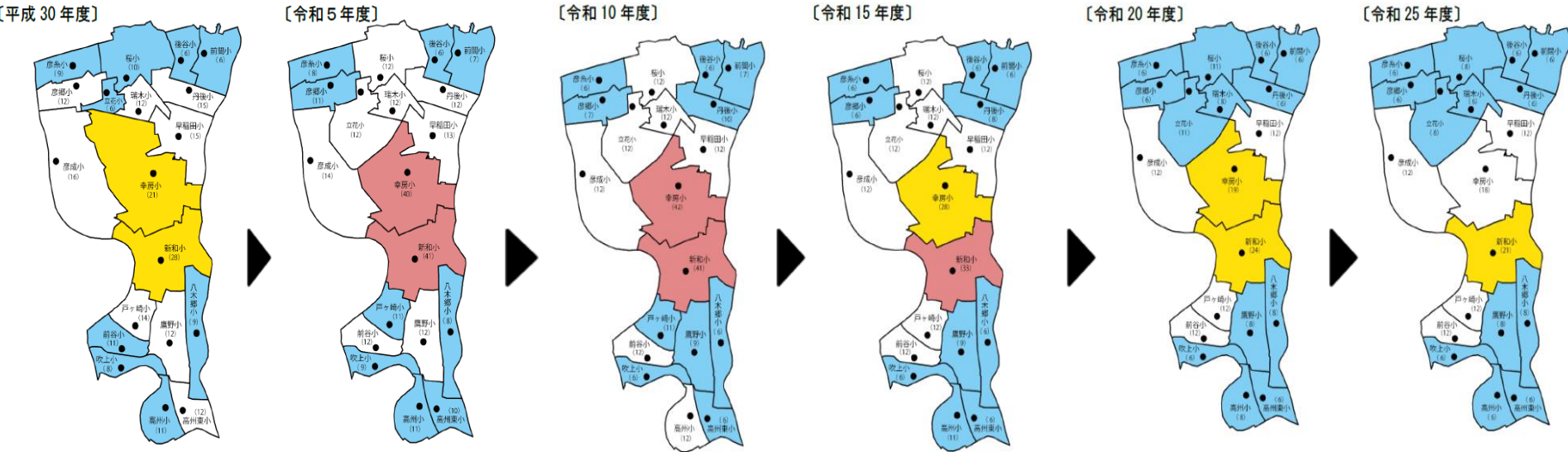
＜小学校＞
児童数と通常学級数



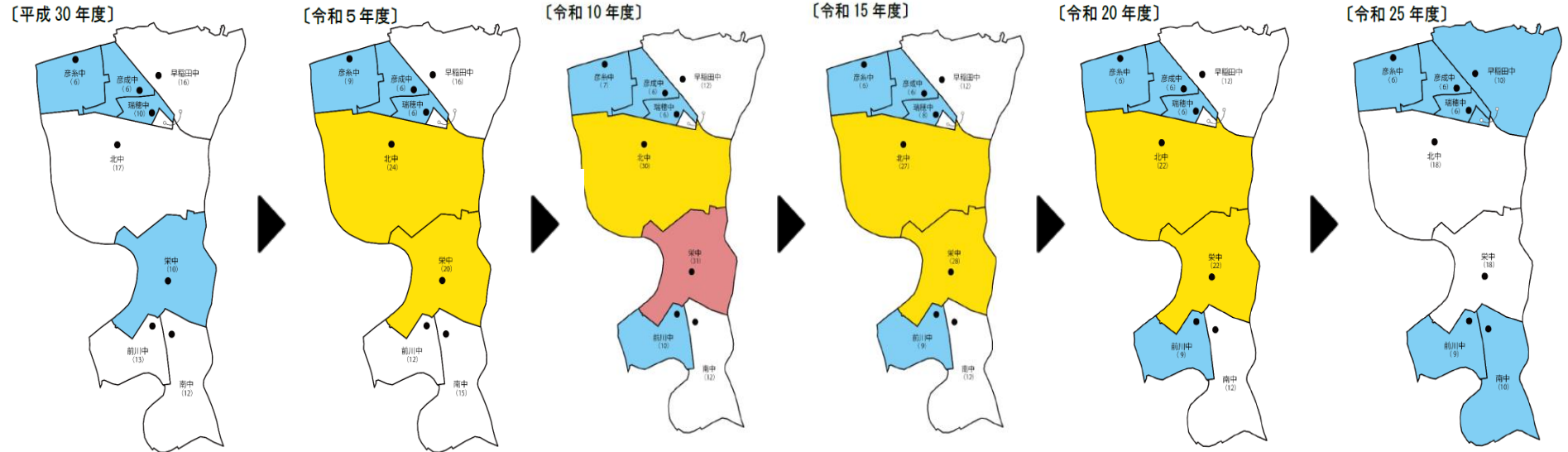
＜中学校＞
生徒数と通常学級数



学校規模の推移《小学校》



学校規模の推移《中学校》



通常学級の数

- 小規模校 (11 学級以下)
- 標準規模校 (12 ~ 18 学級)
- 大規模校 (19 ~ 30 学級)
- 過大規模校 (31 学級以上)